

**製品名: FNBP4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11053**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	111kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FNBP4 FBP30 KIAA1014
別名	
遺伝子 ID	23360.0
SwissProt ID	Q8N3X1
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

**背景**

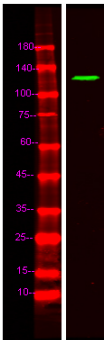
ドメイン: これらの WW ドメインは、いくつかの WW ドメイン結合タンパク質 (WBP) に見られる、Arg/Gly に富む側面を持つ Pro に富むドメインと相互作用します。N 末端の WW ドメインは、より強いリガンド結合能を有します。PTM: DNA 損傷時にリン酸化

されます (おそらく ATM または ATR による)。,類似性: 2つの WW ドメインを含みます。 ,サブユニット: FMN1 に結合します。 KHDRBS1/SAM68 の Arg/Gly に富む側面を持つ Pro に富む領域と相互作用します。これらの領域のアルギニンメチル化はこの結合に影響を与えません。 ,ドメイン: これらの WW ドメインは、いくつかの WW ドメイン結合タンパク質 (WBP) に見られる、Arg/Gly に富む側面を持つ Pro に富むドメインと相互作用します。 N 末端 WW ドメインは、より高いリガンド結合能を有する。 , PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。 ,類似性: 2つの WW ドメインを含む。 ,サブユニット: FMN1 に結合する。 KHDRBS1/SAM68 の Arg/Gly に富むタンパク質に富む領域と相互作用する。これらの領域におけるアルギニンメチル化は、この結合に影響を与えない。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。